

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	博愛こども発達・在宅支援クリニック 放課後等デイサービス		
○保護者様評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月31日		
○保護者様評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ～ 2025年10月17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部や内部研修を受講する機会や法人内等で研修に参加できる機会が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> ・業務調整を行い、研修参加の確保に努めている。 ・オンラインでの研修参加が行えるように環境を整えている。 ・年に1回以上の研修参加が確保できる職場環境に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加した研修について共有できるように研修資料の回覧をする。 ・内部研修の年間計画を立て職員が参加しやすい環境設定を行う。
2	医療的ケア児の受け入れができる	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児受け入れに必要な看護師配置がある。 ・医師と連携が取れているため保護者様が安心して利用できる。 ・利用の様子をSNS発信やKIDS通信、連絡ノートで伝えることで保護者様が安心して利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としてのスキルアップや福祉サービスについての知識を深め家族を含めた支援が行えるように努める。 ・送迎時に保護者様と話す時間を作っているが、今後も寄り添った支援が行え、相談や助言が行えるよう努めたい。
3	定期的なミーティングや会議により業務改善や支援の振り返りの場が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回福祉ミーティングや事例検討会を行っている。 ・毎日支援の振り返りを行い電子カルテに記載している。 ・個別支援計画作成、見直しの際は担当者や支援者で会議を開き共通理解のもとで作成している。 	

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	もともとある施設で広い一室となっているため快適な生活空間の確保が難しい	<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースに座位保持装置やクッションチェア、医療機器があり安全確保が難しいことがある。 ・個室での対応が難しい場合がある。 ・物を片づける場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの広い一室である。パーティションで区切ったり事業所内の病棟個室で対応している。 ・生活空間の確保に努め、現在の活動スペース配置を検討する。 ・整理整頓に努める。
2	保護者様へのマニュアル周知が十分にできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会でマニュアルを策定し職員に周知しているが保護者様への周知が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでもマニュアルの閲覧が出来るように配置する。 ・安全計画は年度はじめに保護者様へ説明、配布する。 ・定期的な訓練や感染情報についてはお便りや掲示での周知を継続していく。 ・非常災害時の保護者様LINE登録の呼びかけを継続していく。
3	地域や保護者様との交流、同年代のお子様との関わる機会がない	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の強化のため。 ・利用時間が短く、放課後等デイサービス利用児が少なく、利用回数も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回保護者交流会や年2回保護者参加週間の案内を行う。 ・今年度家族交流会開催予定でありきょうだい参加も予定している。 ・交流できる場を把握し開拓していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 博愛こども発達在宅支援クリニック 放課後等デイサービス

公表日 年月日 2026年 2月 2日

利用児童数 2025年10月1日現在 1名

回収数 1名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100%					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				100%		・感染対策や利用時間が短いため交流する機会が持てません。今後、長期休暇利用時や感染対策を考慮した上で交流の機会が持てるように努めていきたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				100%		事業所内の別事業でペアレント・トレーニングを行っています。研修会の情報はポスター掲示等行っていますが、利用の際に情報提供できるように努めます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	100%					

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	博愛こども発達・在宅支援クリニック（放課後等デイサービス）			公表日	2026年 2月 2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	91%	9%	・利用されているお子様が少なく、他の福祉サービス利用のお子様と同じスペースで過ごすことが多いが広い空間が確保できています。	・もともとある施設のため空間を上手く使用し対応していますが、長期休暇等利用人数が普段より多くなる場合、午睡スペースの確保やベッドの利用等必要なスペースの確保に努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・職員の急な休みがなければ適切に満たされており、お子様に合わせ職員配置を行っています。 ・お子様の状態に応じて、散歩時に安全を考慮して人手がいる場合は1対2に配置しています。	・排泄介助や処置のタイミングが重なるとき一時的に人手が少ない時がありますが、職員間で情報共有し支援出来るように努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	91%	0%	・障がい特性に合わせて1日の流れや同日利用のお友達の写真、帰宅時間等を貼り、安心して過ごせる環境づくりをしています。 ・室内はバリアフリーであり、就学しているお子様のためトイレへの導線や洗面台の高さ等適切です。 ・状況に応じてパーティションを利用したり、個室での対応を行えるようにしています。	・医療的ケア児の受け入れがあり医療機器や座位保持装置やクッションチェア等が遊びや活動のスペースにあるため環境調整をしながら安全に過ごせるように努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	82%	18%	・毎朝、業者や職員で清掃を行っています。 ・活動スペースは広い一室であり、限られた環境で考えながら空間を作り、必要に応じてパーティション等で区切って活動しやすい空間を作っています。	・設備上床が冷たい、床が汚れやすい等あるため活動スペースにマットを敷き対応したり、日頃から清掃や整理整頓を行い、清潔で安全に過ごせる空間の確保に努めています。 ・オムツ交換の場所が生活空間と一緒にいることがあるためプライバシーや清潔面を考慮して検討していきたいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	91%	9%	・発達特性や体調面を考慮し状態に応じて、パーティションで区切ったり個室で対応しています。	・活動スペースに個室がないため、必要時事業所内の個室を利用し対応しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	91%	9%	・福祉ミーティングや事例検討を定期的（月に1回）に行い、福祉チーム中心に毎日振り返りを行っています。	・他の業務等によりミーティングや日々の振り返りに参加できない職員がおり、PDCAサイクルがきちんとまわされているかわからないと感じる職員もいますが、参加できるように時間調整を行い、議事録や連絡ノート、電子カルテの連絡版活用により情報共有に努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・モニタリング、面談を定期的の実施しています。 ・年に1回、保護者様に事業所評価や意向調査を実施し保護者様の意見を反映できるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	91%	9%	・月1回の福祉ミーティングを実施しています。 ・年に1回の自己評価や年2回管理者との面談、日々のミーティング等で意見を把握できる機会を設け業務改善につなげています。	・福祉ミーティング等で意見等把握する機会を設けていますが、参加できない職員は意見を把握する機会が少ない、改善につながっているかわからないと感じているため参加できるように業務調整をしていきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18%	82%		・第三者による外部評価は受けていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修の情報を提供したり、各自で積極的に研修参加し、研修報告を行い、全体のスキルアップに努めています。 ・外部研修に加え、法人内必須研修もあり学びの場は確保されています。	・研修の案内があらかじめゆとりがあると業務調整ができ参加ができます。前月や当月の案内は調整が難しいことがあります。 ・児童発達支援に関する研修の機会がありますが、放課後等デイサービスに関する研修の機会が少ないように感じます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	91%	9%	・支援プログラムを作成、HPで公表しており、職員間や保護者様に共有しています。	・どのように公表されているかわからない職員には再度周知していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・担当者会議をしながら適切に行っています。 ・アセスメントシートや発達評価、事前アンケート、担当者会議やモニタリングを行い、計画作成、修正をしています。	・作成までの過程を職員間で周知しアセスメントやニーズの把握に努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・毎月福祉ミーティングでお子様の様子や課題について共有する時間を設けて支援計画に反映させています。 ・個別支援計画作成の際は事例検討会を行い、支援に関わる職員でお子様の姿の共通理解を図ったり多職種で意見交換をしています。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・本案を保護者様に説明、同意後全職員が支援計画の確認が出来るように回覧し、職員間で共有し計画に沿った支援が行えるように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・日々の支援の中での様子やアセスメント、発達評価を行い確認しています。 ・アセスメントツール（発達評価表等）を用いケース検討を行い、専門的に支援に関わるスタッフ（PTや保育士）が中心となりKIDSや遠城寺などのアセスメントツールを使い発達評価し支援しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・ガイドラインに明記された項目を踏まえながら、個々の強みを生かして課題に取り組めるような支援目標や支援内容を設定しています。 ・それぞれの視点（5領域）を意識して支援計画を立てています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・毎週、主に保育士チームを中心に、他の職員の意見も取り入れながら行っています。 ・週1回翌週の計画を共有しています。	・主に保育士チームが立案しているため積極的に他の職員の意見も取り入れながら行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・季節の行事や外出等いろいろな活動プログラムを取り入れ工夫しています。 ・週単位で色々な活動が出来るように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・利用のお子様が少ないため個別活動が中心ですが、1日利用の長期休暇には組み合わせ出来るように意識して支援しています。 ・状況に応じて活動内容を変え、お様が負担なく安心して過ごせるように支援しています。	・利用人数少ない中で集団活動の実施は難しいですが、同じ活動でも個々に合った方法で取り組めるように工夫しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・朝礼後役割分担について確認し、参加できない職員にもわかるように提示しています。 ・朝のミーティングでその日の活動と個々の支援目標を伝えチームで同じ方向で支援できるようにしています。 ・先週の様子も考慮し、関わり方、環境構成等を福祉チームで話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎日、支援に関わった職員を中心に、支援後振り返りミーティングの時間を設け、内容を記録しています。	・終了後の打ち合わせができていない時や参加ができない職員へ共有することが難しいため、連絡ノートや電子カルテの連絡版の活用を徹底していきたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・日々の支援について毎日振り返りを行い、電子カルテ記録をしています。	・支援の検証、改善につながっているかわからないと感じている職員には電子カルテ記録の確認やミーティングへの参加を積極的に促していきたいと思っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的（6か月ごと又は必要に応じて）にモニタリング、放課後等デイサービス計画の見直しを児発官、担当者中心に行っています。	
関係機関や保	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	82%	18%	・将来の自立生活について職員間で案を出し合ったり、活動の選択が出来るよう支援内容の検討をしています。 ・「地域交流の機会の提供」は十分にできてませんが、アート展など作品を通して交流する機会ができたと思います。	・「地域交流の機会の提供」に関しては下校時間や支援時間の影響で不十分のため、今後長期休暇等の利用時に行えるように努めたいです。 ・活動時間が短いため複数組み合わせ支援を提供することが難しい面もありますが努めていきたいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	91%	9%	・選択肢（二者択一）を設けながら、自己決定できるように支援を行っています。 ・長期休暇は活動と自由時間（余暇活動）の使い方について自己選択を促す工夫や本人に過ごし方の選択ができるように支援しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児発官、担当職員で参加し、様子や活動状況を伝えています。 ・お子様の状況がわかるスタッフが参加し会議の内容はカルテで共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	91%	0%	・相談支援専門員中心にサービス担当者会議を開催し、出席し連携を図っています。	・無回答1名 ・相談支援専門員の交代により会議の開催や関係機関との連携が図れるようになり他の事業所との情報共有ができるようになりました。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・ノートでのやり取りや送迎時での伝達などで適切に行っています。 ・学校との情報共有は主として保護者様を介して行っていますが、送迎時に担任と話し情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	55%	36%	・相談支援専門員を通じて実施しています。 ・必要に応じて担当者会議に参加し共有を図っています。	・就学前から当事業所利用しているお子様が多いですが、今年度対象のお子様はいません。 ・無回答1名

護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	55%	36%	・移行支援会議等で実施しています。 ・必要に応じて担当者会議に参加し共有を図っています。	・対象のお子様はいませんが、必要時情報共有していきたいです。 ・無回答1名
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	82%	18%	・児童発達支援センター主催の研修に参加し情報交換をしています。	・児童発達支援センターとの直接の連携は行えていませんが、主催の研修に積極的に参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	18%	82%	・放課後の利用のため支援時間が短く難しいですが意識はしています。	・感染症の流行や支援時間が短い、お子様の特性上難しいこともありますが、長期休暇等で交流の機会を設けていけるように努めたいです。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	73%	27%	・自立支援協議会の全体会議に管理者中心に職員が数名参加しています。	・自立支援協議会について職員が周知できるように管理者だけでなく、職員も会議等の参加をしていきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・日々の連絡ノートや送迎時に状況や課題について保護者様にお伝えするように心がけています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	55%	45%	・今年度より同事業所で保護者支援プロジェクトを導入し、ペアレント・トレーニングや子育てカウンセリングを実施しています。 ・チラシやホームページで情報発信しています。	・研修会のお知らせ等の情報提供は行えてませんが事業所内にチラシを置き自由に閲覧出来るようにしています。
保護者への説明等	36	障害特性、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・児発管が契約時に行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・保護者様に対しての事前アンケート（意向や思い、計画に対する保護者評価等）やモニタリング、面談の際に意向を確認する機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・原案を基に保護者と面談し本案作成、児発管が本案を示しながら説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・必要に応じて時間を設けて面談ができるように努めています。 ・連絡ノート、事前アンケート、モニタリング等で相談しやすい機会や環境を整えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	91%	9%	・保護者会を年1回行っています。また、今年度はきょうだい児も参加できる家族交流会を企画しています。	・日程が合わず、保護者交流会への参加はありませんでした。 ・保護者様に利用の様子を見ていただく機会を設けていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	82%	9%	・連絡ノートや送迎時に話して頂きやすい雰囲気作りをし、必要時日程調整をして面談を行っています。 ・相談や申し入れに関する相談窓口を事業所内に整備し、相談や申し入れがある場合はできる限りの対応ができるように努めています。	・該当なし ・無回答1名
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・HPやSNS等で活動の様子等を発信（週1回のSNS更新）しています。 ・年4回キッズ通信で行っています。	・活動予定の周知が不十分だったため、毎月の活動計画についてお便りを配布していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・契約時に個人情報公開の可否について確認し対応しています。 ・SNS更新時は2人以上のスタッフによりチェックを行いながら個人情報の流出に留意しています。 ・個人情報に関する研修を毎年行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・個々に応じて丁寧な情報伝達ができるように努めています。 ・子どもの思いを聞き、子どもの特性に合わせて文字やデジタル時計、写真等使用し行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36%	64%	・SNSで発信したり散歩の際挨拶等行ってます。	・感染対策のため（感染リスクの高い児の受入が多い）地域住民の方を招待することはできませんが、今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・各委員会でマニュアルの整備を行い、策定しています。定期的な訓練や必須研修も実施しています。 ・保護者様にも避難訓練で安否確認のLINE登録、訓練を行っています。	・保護者様への周知が充分にできていないため今後検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCPを策定し、毎月1回避難訓練実施やアクションカード読み合わせを行っています。 ・実際に想定した訓練を法人内全体で年2回行っています。	・避難訓練は毎月行っているが、放課後等デイサービス利用のお子様は参加できていないことがあるため方法等の検討に努めています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・利用前の面談にて看護師中心に情報の聞き取りを行っています。また、健診時に予防接種の確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91%	9%	・主治医の指示書に基づき対応しています。 ・利用前面談にて確認し、アレルギー対応マニュアルに沿って対応を行っています。	・現在、対象となるお子様はいません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	82%	18%	・外出時の計画を立て緊急時の対応は確認できています。 ・医療安全委員会中心にマニュアルを整備し作成に努めています。	・安全計画については不十分な箇所について整備、修正して、今後研修や訓練を実施していきたいと思っています。

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	64%	36%	・KIDS通信で避難訓練の毎月予定や様子をお伝えしています。保護者様へLINE登録の呼びかけを行っています。	・家族への周知が十分にできていないため周知方法について検討しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・インシデント、ヒヤリハット事例は各職種で対策検討し、医療安全委員会や朝のミーティングにて報告、共有しています。 ・医療安全委員会を毎月開催しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止に関する研修を年1回以上職員全員が受講しています。（法人内の動画研修） ・虐待防止の院外研修に関しては委員会中心に受講しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	91%	9%	・身体拘束に関するマニュアルを職員に周知しています。 ・同法人内の動画視聴研修を受講しています。	・対象のお子様がいません。